

|    | Q.質問  | A.回答  |
|----|---|---|
| Q1 | 区域に指定されるとどうなりますか？   | 雨水出水浸水想定区域図に指定されると、市長は内水ハザードマップを作成し配布するなどの措置を講ずる必要があることから、令和7年度、新座市では、想定最大規模降雨での内水ハザードマップを作成予定です。   |
| Q2 | なぜ雨水出水浸水想定区域図(想定最大規模降雨)が必要なのですか？  | 近年、下水道等の雨水排水施設の能力を上回るような大雨が全国的に増加しており、新座市でも床上下浸水や道路冠水といった被害が発生しております。<br>このような状況を踏まえ、令和3年の水防法改正により、雨水出水浸水想定区域図は、大雨が発生した場合に想定される浸水区域や浸水深を公表することで、皆様のお住まい、職場、学校の周りで想定される浸水リスクをご確認いただき、速やかに避難できるよう活用するために作成・公表しています。 |
| Q3 | 雨水出水浸水想定区域図と内水ハザードマップとの違いは何ですか？   | 雨水出水浸水想定区域図、内水ハザードマップともに、円滑な避難行動や平常時からの防災意識の向上を図るために活用されるものです。内水ハザードマップには、水害時の避難場所、避難方法などの情報が雨水出水浸水想定区域図に追加される予定です。<br>令和7年度、新座市では内水ハザードマップを作成予定です。   |
| Q4 | 想定最大規模降雨とは何ですか？   | 想定最大規模降雨は、国土交通省が作成した設定手法に基づいて決定しています。<br>新座市では、令和5年6月2日～3日(台風2号)の時間最大雨量35ミリメートルをもとに、地域ごとに定められた最大降雨量となるように引き伸ばして作成したもので、1時間最大降雨量は153ミリメートルとなります。これは1000年に1回(0.1%)発生する確率の雨量です。<br><br>※別紙1 想定最大規模降雨(降雨の波形)          |
| Q5 | 時間153ミリメートルの雨はどのくらいの雨ですか？   | 近年の大雨であった令和5年6月2日～3日(台風2号)の降雨量では時間35ミリメートル <sup>※1</sup> であったため約4.37倍、令和6年7月31日(集中豪雨)の降雨量では時間63.5ミリメートル <sup>※1</sup> であったため約2.41倍となります。<br>※1 埼玉県南西部消防局より提供  |
| Q6 | 令和5年6月2日～3日(台風2号)より令和6年7月31日(集中豪雨)の方が時間降雨量が多いと思われませんが、なぜ令和5年6月2日～3日(台風2号)の降雨をもとにしたのですか？ | 雨水出水浸水想定区域図は、指定の区域内に想定される浸水リスクをご確認いただくことにより速やかに避難できるよう活用するために作成・公表しています。<br>令和6年7月31日(集中豪雨)の降雨をもとにした、雨水出水浸水想定区域図も検討しましたが、令和5年6月2日～3日(台風2号)の降雨の方が浸水域が大きく表示されたため、浸水リスクを確認するという観点から対象降雨を選定しました。                      |
| Q7 | 雨水出水浸水想定区域図はなにをもとに作成しましたか？  | 内水浸水想定区域図作成マニュアル(案)(令和3年7月 国土交通省発行)に基づいて作成しています。  |
| Q8 | 浸水継続時間を表示しないのはなぜですか？  | 想定し得る最大規模の降雨により、長時間(概ね24 時間以上)にわたり浸水(0.5m以上)するおそれがある場合、水防法施行規則第5 条第3 項に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、新座市では長時間にわたる浸水が見られないため、浸水継続時間を表示していません。  |

|            |   |  |
|------------|---|--|
| <p>Q9</p>  | <p>雨水出水浸水想定区域図の地形データはどのように設定していますか？</p>                                     | <p>新座市の地形データは内水浸水想定区域図作成マニュアル(案)に基づき、令和6年度雨水出水浸水想定区域図作成時点で最新の国土地理院基盤地図情報(測量年次H21、H27、H29)の数値標高モデルを使用しています。<br/>したがって、現況の地形と異なる場合もあります。</p> <p>※別紙2 5mメッシュ数値標高モデルの年次</p>  |
| <p>Q10</p> | <p>雨水出水浸水想定区域図ができたのはいつですか？<br/>また、この図の内容に変更があった場合、どうやって確認できるのでしょうか？</p>     | <p>令和6年度に実施されたシミュレーションを基に作成し公表しました。この図の内容に変更があった場合は、新座市の公式ホームページや市報などで告知する予定です。<br/>また、具体的な指定年月日や告示番号についても決定され次第、同様の方法でお知らせいたします。</p>  |
| <p>Q11</p> | <p>この雨水出水浸水想定区域図に基づいて、具体的にどの地域が浸水する可能性があるか教えてください。</p>                      | <p>この図は新座市内の公共下水道等の排水区域の中で、想定最大規模降雨が発生した場合に浸水が予想される区域を示しています。赤枠で囲まれた部分が排水区域で、その内部の着色された部分が今回指定される浸水想定区域になります。</p>  |
| <p>Q12</p> | <p>指定区域を市内全域にしないのはなぜか？</p>  | <p>雨水出水浸水想定区域の指定については、水防法第14条の2第2項において、排水施設により雨水を排除できなくなった場合又はその他公共の水域に雨水を排水できない場合に浸水が想定される区域を指定するものとされています。<br/>排水施設は、公共下水道等の排水施設と位置付けられており、これは公共下水道の雨水管渠のことであることから、公共下水道事業計画区域(排水区域)を指定対象区域としております。<br/>なお、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。</p> |
| <p>Q13</p> | <p>浸水想定区域に指定されていない場所でも浸水が発生する可能性があるとのことですが、具体的にどの地域が浸水する可能性があるか教えてください。</p> | <p>雨水出水浸水想定区域図の指定対象区域は公共下水道の排水区域になり、それ以外は対象区域に含まれていませんが、図面に着色している部分が浸水が発生する可能性がある箇所となります。<br/>なお、浸水想定区域内であっても、想定最大規模降雨を超える規模の降雨が発生した場合や、河川の破堤や越水による氾濫が発生した場合、または市外の浸水状況が影響して浸水が移動する場合などが考えられます。これらの場合、想定される水深が異なる場合があります。</p>  |
| <p>Q14</p> | <p>過去に浸水したことが無い範囲が浸水する想定になっていますが、間違っていないですか？</p>                            | <p>想定最大規模降雨は、今まで経験した降雨を上回る降雨であるため、過去に浸水していない場所でも浸水する可能性があります。</p>  |
| <p>Q15</p> | <p>過去の大雨で浸水した箇所が図面上で着色されていないのですが、間違っていないですか？</p>                            | <p>落葉や土砂による排水施設の詰まりなどの環境的要因をシミュレーション上で考慮できないため、過去の実績と異なる場合もございます。<br/>また、排水施設の整備が進んだ場合や、土地開発による造成などにより地形が変化した場合、現在の想定される浸水範囲及び浸水深が異なる場合がございます。</p>   |
| <p>Q16</p> | <p>川からの越水は考慮していますか？</p>   | <p>内水(下水道施設や既存の水路では処理できずに溢れた水)を対象とした浸水図となりますので、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫は考慮されておりません。</p>   |

|            |   |   |
|------------|---|---|
| <p>Q17</p> | <p>市外の浸水状況は考慮していますか？</p>                    | <p>市内の下水道施設や既存の水路では処理できずに溢れた水を反映しているため、市外の浸水状況(浸水の移動等)は考慮していません。また、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。</p>  |
| <p>Q18</p> | <p>浸水深が記載されていますが、どのくらいの深さの浸水が予想されるのですか？</p> | <p>この図に示されている浸水深は、想定最大規模降雨が発生した場合に予想される浸水の深さです。具体的な浸水深については内水浸水想定区域作成マニュアル(案)に基づいて表示しております。<br/>                 浸水深の目安は次のとおりです。<br/>                 0.5m:1階床高に相当する浸水深<br/>                 3.0m:2階床下に相当する浸水深<br/>                 視覚的なイメージにつきましては、下記を参考にご確認ください。</p>  |
| <p>Q19</p> | <p>今後、この浸水を解消するための整備の予定はありますか？</p>          | <p>雨水出水浸水想定区域図は、浸水リスクを確認していただくことにより、速やかに避難できるよう活用することを目的としておりますので、今回、設定した想定最大規模降雨に対応する雨水整備の予定はありません。<br/>                 しかしながら、浸水被害を軽減するため、今回作成した地形や管渠等のデータを用いて、過去の大雨等といった現実的な降雨量を参考に改めてシミュレーションを行い、効果的な整備の検討を進めてまいります。</p>   |